



小児の季節性インフルエンザ対策 に関するお知らせ

この冬、インフルエンザにかからないためにできること

【予防接種】



① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染しても発症を予防する効果があり、発症した場合は重症化防止に有効と報告されています。

【基本的な感染対策】

① マスクをつけよう

会話をする時、咳、くしゃみが出る時にはマスクの着用を

マスクをしよう

② 手を洗おう

外出後など、流水・石鹸で、こまめな手洗いを

てをあらおう

③ 換気をしよう

十分な換気をすることで、新型コロナウイルス感染症対策にもなります

かんきをしよう

☆適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、なども効果的です。

乳幼児をインフルエンザウイルスの感染から守るために 家族や周囲の大人の方々ができること

- 手洗い・咳エチケットを徹底する
- 流行時期は、人が多く集まる場所を避ける
- 乳幼児がインフルエンザウイルスへ曝露される機会を出来るだけ減らす 等

(出典) 厚生労働省 令和4年度インフルエンザQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infu/2022.html



【みなさまへのお願い】

- ◆ 接種にあたっては、あらかじめ医療機関にお電話等でご連絡いただき、予約をお願いします。
- ◆ インフルエンザワクチンは重症化予防などの効果がある一方で、接種時の体調などによって副反応が生じる場合があります。
- ◆ 医師と相談の上、接種いただくとともに、接種後に体調に異変が生じた場合は医療機関にご相談いただくようお願いいたします。